

# 大麦特報 (第5号)

平成 29 年 5月  
富山農林振興センター  
なのはな農業協同組合

本年は、出穂期が平年より5日ほど早く、その後も天候に恵まれ順調に登熟が進んでいます。

刈取時期の予測を参考に成熟したほ場から計画的に刈取りを進めましょう。

## 刈取前の注意事項

### (1) カラスノエンドウの抜き取り

刈取り前にはほ場を巡回し、カラスノエンドウがあれば必ず抜き取り、適切に処分しましょう。

この種子は粒厚が3mmと大きく、刈取時に混入すると、調製では取り除くことができず、等級を下げる要因となります。

### (2) 被害粒の混入防止

検査規格における赤かび粒等の混入は**0.0%**と厳しい基準となっています。収穫前に確認し、場合によっては別刈りとしましょう。

また、湿害等による生育不良の部分には病害の発生が懸念されるので最後まで排水対策を徹底しましょう。



<成植物>



<種子> 1メモリ=1mm



<豆果>

## 適期刈取の実施

### 《刈取時期の予測》

出穂日	4/12	4/17
成熟期 (予想日)	5/29頃	6/3頃

\*管内大麦の黄化状況調査により予想

穂軸と茎葉が完全に黄化し、子実に爪を立てても跡が残らなくなる頃(=子実水分**30%以下**)を目安に始めて下さい。

**早刈り**は粒の充実が不十分で**空洞粒の原因**となります。また、**刈遅れ**は**収穫ロスが多**くなる上、**熟色不良**となるため、すべての穂首が屈曲する前に収穫を終えましょう。

屈曲した穂の割合が50%程度確認できたら、収穫です。



百塚カントリーでの荷受けは、  
5月29日(月)より行います。

実需者から求められる品質維持のため、異物混入防止を徹底しましょう。